

令和5年度 業務概況書 概要版

令和6年11月27日
国家公務員共済組合連合会

目次

【厚生年金保険給付積立金】

1. 市場環境	3
2. 運用資産額の状況	4
3. 資産構成割合の状況	5
4. 収益額の状況	6
5. 収益率の状況	7
【参考】これまでの運用実績	10

【退職等年金給付積立金】

1. 運用資産額・資産構成割合の状況	12
2. 収益の状況	13

【経過的長期給付積立金】

1. 運用資産額・資産構成割合の状況	16
2. 収益の状況	17

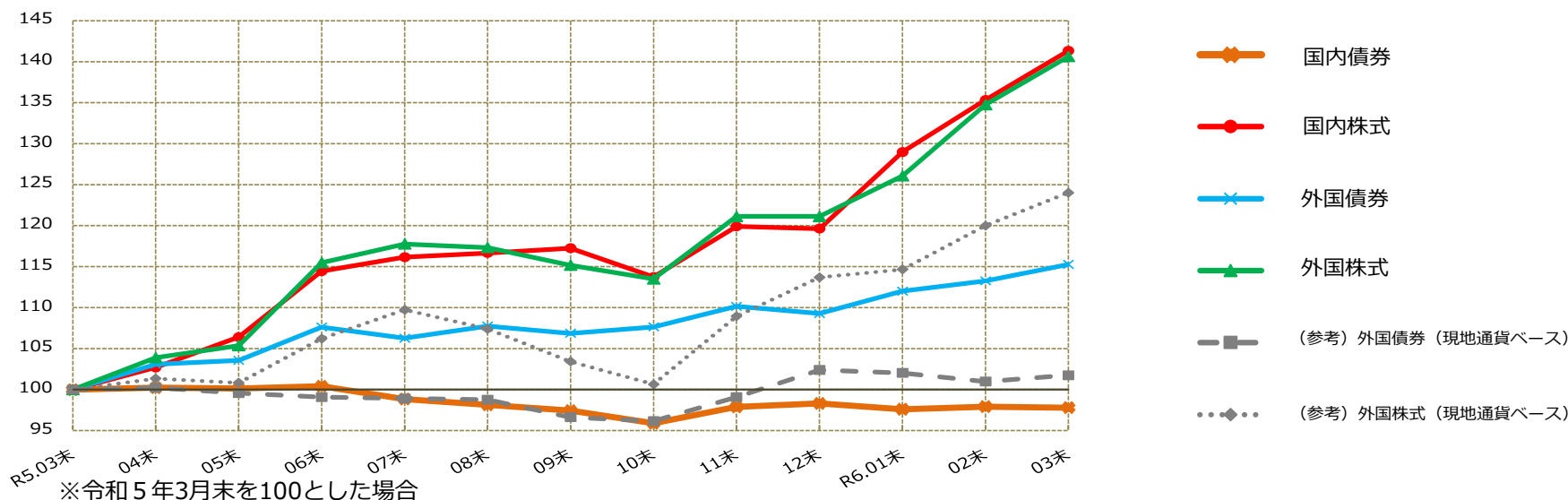
【資産運用に係るリスク管理について】

1. 資産運用に係るリスク管理について	19
2. 運用リスク管理の状況	20

【厚生年金保険給付積立金】

1. 市場環境

○ ベンチマークインデックスの推移（令和5年度）



○ ベンチマーク収益率

	令和4年度	令和5年度				
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
国内債券 NOMURA-BPI (総合)	-1.65%	0.41%	-2.97%	0.89%	-0.51%	-2.20%
国内株式 TOPIX (配当込み)	5.81%	14.45%	2.45%	2.04%	18.14%	41.34%
外国債券 FTSE WGBI (除く日本、ヘッジなし・円ベース)	-0.50%	7.62%	-0.71%	2.26%	5.49%	15.27%
<参考> 同上 (現地通貨ベース)	-7.51%	-0.92%	-2.48%	5.96%	-0.64%	1.74%
外国株式 MSCI ACWI (除く日本、円ベース、配当込み、配当課税前)	1.88%	15.49%	-0.27%	5.17%	16.10%	40.63%
<参考> 同上 (現地通貨ベース)	-5.62%	6.22%	-2.63%	9.92%	9.09%	24.02%
複合ベンチマーク	1.58%	9.41%	-0.37%	2.61%	9.64%	22.62%

○ 参考指標

		令和4年 3月末	令和5年 3月末	令和6年 3月末
国内債券	日10年国債利回り (%)	0.220	0.351	0.727
国内株式	TOPIX配当なし (pt)	1,946.40	2,003.50	2,768.62
	日経平均株価 (円)	27,821.43	28,041.48	40,369.44
外国債券	米10年国債利回り (%)	2.338	3.468	4.200
	独10年国債利回り (%)	0.548	2.292	2.298
外国株式	NYダウ (ドル)	34,678.35	33,274.15	39,807.37
	ドイツDAX (pt)	14,414.75	15,628.84	18,492.49
外国為替	ドル/円 (円)	121.38	133.09	151.35
	ユーロ/円 (円)	135.05	144.60	163.45

(注) 資産全体のベンチマーク収益率（複合ベンチマーク収益率）は、各資産のベンチマークの収益率を基本ポートフォリオの割合で加重平均しています。

2. 運用資産額の状況

令和5年度における運用資産額及び評価損益額は以下のとおりとなりました。

(単位：億円)

	令和4年度			令和5年度											
	年度末			第1四半期末			第2四半期末			第3四半期末			年度末		
	簿価	時価	評価 損益額	簿価	時価	評価 損益額	簿価	時価	評価 損益額	簿価	時価	評価 損益額	簿価	時価	評価 損益額
国内債券	20,817	21,232 (22,469)	415 (1,652)	18,108	18,529 (19,733)	421 (1,625)	21,515	21,805 (22,650)	290 (1,135)	20,917	21,278 (22,172)	362 (1,255)	23,955	24,266 (25,060)	311 (1,105)
(うち短期資産)	3,965	3,965	0	1,799	1,799	0	5,702	5,702	0	3,037	3,037	0	2,804	2,804	0
国内株式	16,021	20,839	4,819	16,185	23,777	7,592	15,679	22,921	7,242	15,886	23,421	7,535	15,437	26,012	10,575
外国債券	21,202	20,682	-520	21,444	22,278	834	22,111	22,537	426	22,430	23,072	642	22,768	24,354	1,586
外国株式	11,979	20,884	8,905	12,186	24,129	11,943	11,629	22,469	10,840	11,802	23,645	11,842	11,465	26,152	14,687
合計	70,019	83,637 (84,874)	13,618 (14,856)	67,923	88,714 (89,918)	20,791 (21,995)	70,935	89,732 (90,577)	18,797 (19,643)	71,035	91,416 (92,310)	20,381 (21,274)	73,625	100,785 (101,579)	27,160 (27,954)

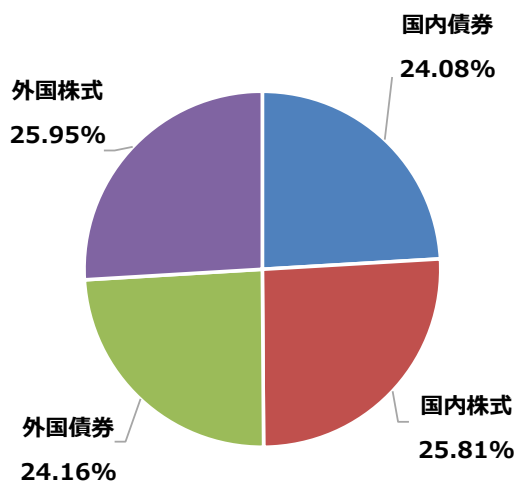
(注1) 国内債券には、財投預託金を含みます。

(注2) () 内は、財投預託金を国債の利回りを参照すること等により評価した場合の運用資産額と評価損益額です。

3. 資産構成割合の状況

(1) 令和5年度末における資産構成割合

	令和5年度末	
	資産額（億円）	構成割合
国内債券	24,266	24.08%
(うち財投預託金)	11,795	11.70%
(うち短期資産)	2,804	2.78%
国内株式	26,012	25.81%
外国債券	24,354	24.16%
外国株式	26,152	25.95%
合計	100,785	100.00%



(注1) 財投預託金については、簿価評価としています。

(注2) 基本ポートフォリオは、国内債券25%（±15%）、国内株式25%（±10%）、外国債券25%（±15%）、外国株式25%（±10%）です。

（財投預託金及び短期資産は、国内債券に含みます。）

(注3) オルタナティブ運用では、分散投資の推進や安定的な収益の獲得を目的に、国内不動産（私募リート、国内債券に含む。）及びバンクローン（外国債券に含む。）への投資を実施しており、令和5年度末時点では年金積立金全体に占める割合は0.17%（管理運用方針で定めた上限は1%）となっています。

(2) 厚生法第79条の3第3項ただし書の規定による運用の状況（国家公務員共済組合法施行規則第85条の12第4号）

厚生年金保険給付積立金において共済独自資産による運用は行っていません。

4. 収益額の状況

令和5年度における収益額は、実現収益額5,706億円、総合収益額19,322億円となりました。

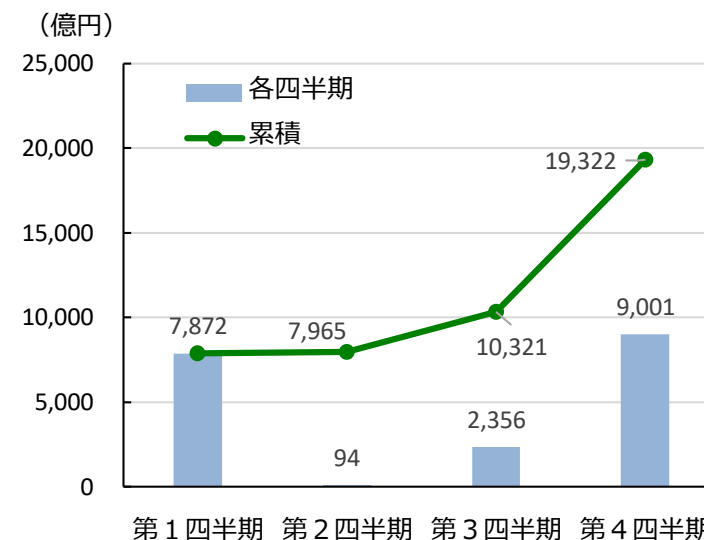
(単位：億円)

	令和5年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益額	896	1,898	944	1,968	5,706

(単位：億円)

	令和5年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
総合収益額	7,872 (7,838)	94 (-265)	2,356 (2,404)	9,001 (8,902)	19,322 (18,879)
国内債券	92 (59)	-49 (-408)	154 (202)	34 (-66)	231 (-212)
国内株式	2,939	437	493	3,983	7,852
外国債券	1,598	-137	533	1,286	3,278
外国株式	3,243	-158	1,176	3,699	7,961

○ 総合収益額の四半期推移



(注1) 収益額は、運用手数料控除後のものです。

(注2) 総合収益額は、実現収益額に評価損益額の増減等を加味したものです。

(注3) 財投預託金及び短期資産は、国内債券に含みます。

(注4) () 内は、財投預託金を国債の利回りを参照すること等により評価した場合の収益額です。

5. 収益率の状況

(1) 実現収益率・修正総合収益率

令和5年度における収益率は、実現収益率8.44%、修正総合収益率23.66%となりました。

(単位：%)

	令和5年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益率	1.33	2.80	1.41	2.89	8.44

(単位：%)

	令和5年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
修正総合収益率	9.64 (9.46)	0.11 (-0.29)	2.73 (2.76)	10.14 (9.93)	23.66 (22.77)
国内債券	0.48 (0.29)	-0.23 (-1.80)	0.74 (0.93)	0.14 (-0.27)	1.08 (-0.94)
国内株式	14.10	1.96	2.25	18.65	39.78
外国債券	7.72	-0.61	2.41	5.77	15.63
外国株式	15.53	-0.70	5.52	16.95	40.43

(注1) 収益率は、運用手数料控除後のものです。また、各四半期の収益率は期間率です。

(注2) 修正総合収益率は、実現収益額に評価損益額の増減等を加味して計算したものです。

(注3) 財投預託金及び短期資産は、国内債券に含みます。

(注4) () 内は、財投預託金を国債の利回りを参照すること等により評価した場合の収益率です。

(2) 中長期の運用状況

積立金の運用は長期的な観点から行うこととされており、長期的な運用目標については、令和元年財政検証の長期の経済前提を基にして、賃金上昇率を上回る実質的な運用利回り1.7%とすることが財務省の財政制度等審議会国家公務員共済組合分科会において示されています。

これに対し連合会の実質的な運用利回りは、5年、10年、15年の平均とも長期的な運用目標として示された1.7%を上回っています。

(単位：%,pt)

	R1-R5年度 5年平均	H26-R5年度 10年平均	H21-R5年度 15年平均
名目運用利回り [修正総合収益率]	9.82	6.82	5.76
名目賃金上昇率	0.84	0.65	0.21
実質的な運用利回り	8.91	6.13	5.54

(注) 名目運用利回り及び名目賃金上昇率は各年度の幾何平均です。

○ 参考

H27.10一元化

(基本ポートフォリオ)	H17.4改正	H22.4改正				H25.12改正	H27.2改正					R2.4改正			
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
名目運用利回り (%) [修正総合収益率]	5.52	1.21	2.06	5.10	4.61	7.45	-1.12	5.38	6.06	1.99	-4.05	24.29	6.12	2.05	23.66
名目賃金上昇率 (%)	-4.06	0.68	-0.21	0.21	0.13	0.99	0.33	-0.05	0.26	0.79	0.60	-0.52	1.04	1.39	1.68
実質的な運用利回り (pt)	9.99	0.53	2.27	4.88	4.47	6.40	-1.45	5.43	5.78	1.19	-4.62	24.94	5.03	0.65	21.61

(注1) 運用利回り(収益率)は、運用手数料控除後のものです。

(注2) 平成27年度上期以前の名目運用利回りは共済年金積立金の運用実績、平成27年度下期以降は厚生年金保険給付積立金の運用実績に基づいて試算したものです。

(注3) 名目賃金上昇率は、平成26年度以前は「平成26年度年金積立金運用報告書(平成27年9月厚生労働省)」より数値を引用、平成27年度以降は厚生年金保険制度全体のもの(厚生労働省提供)です。

(注4) 実質的な運用利回りは $\{(1 + \text{名目運用利回り} / 100) / (1 + \text{名目賃金上昇率} / 100)\} \times 100 - 100$ で算出しています。

(3) 時間加重収益率とベンチマーク収益率との比較

令和5年度の資産全体の時間加重収益率は23.81%、複合ベンチマーク収益率は22.62%となり、超過収益率は1.20%となりました。主に個別資産要因によるもので、国内債券の収益率がベンチマークと比べて高かったことが影響しました。

(単位：%)

	令和5年度の収益率			超過収益率の要因分解			
	時間加重収益率 (A)	ベンチマーク 収益率 (B)	超過収益率 (A-B)	寄与度 (①+②+③)	資産配分 要因 ①	個別資産 要因 ②	複合要因 ③
資産全体	23.81	22.62	1.20	1.20	0.51	0.75	-0.06
国内債券	1.12	-2.20	3.32	1.35	0.37	1.04	-0.05
国内株式	39.85	41.34	-1.49	-0.29	0.04	-0.33	-0.01
外国債券	15.74	15.27	0.47	0.11	-0.01	0.12	0.00
外国株式	40.27	40.63	-0.36	0.03	0.11	-0.08	-0.00

(注1) 「時間加重収益率」とは、キャッシュフローの影響を排除した収益率です。また、運用手数料控除前のものです。

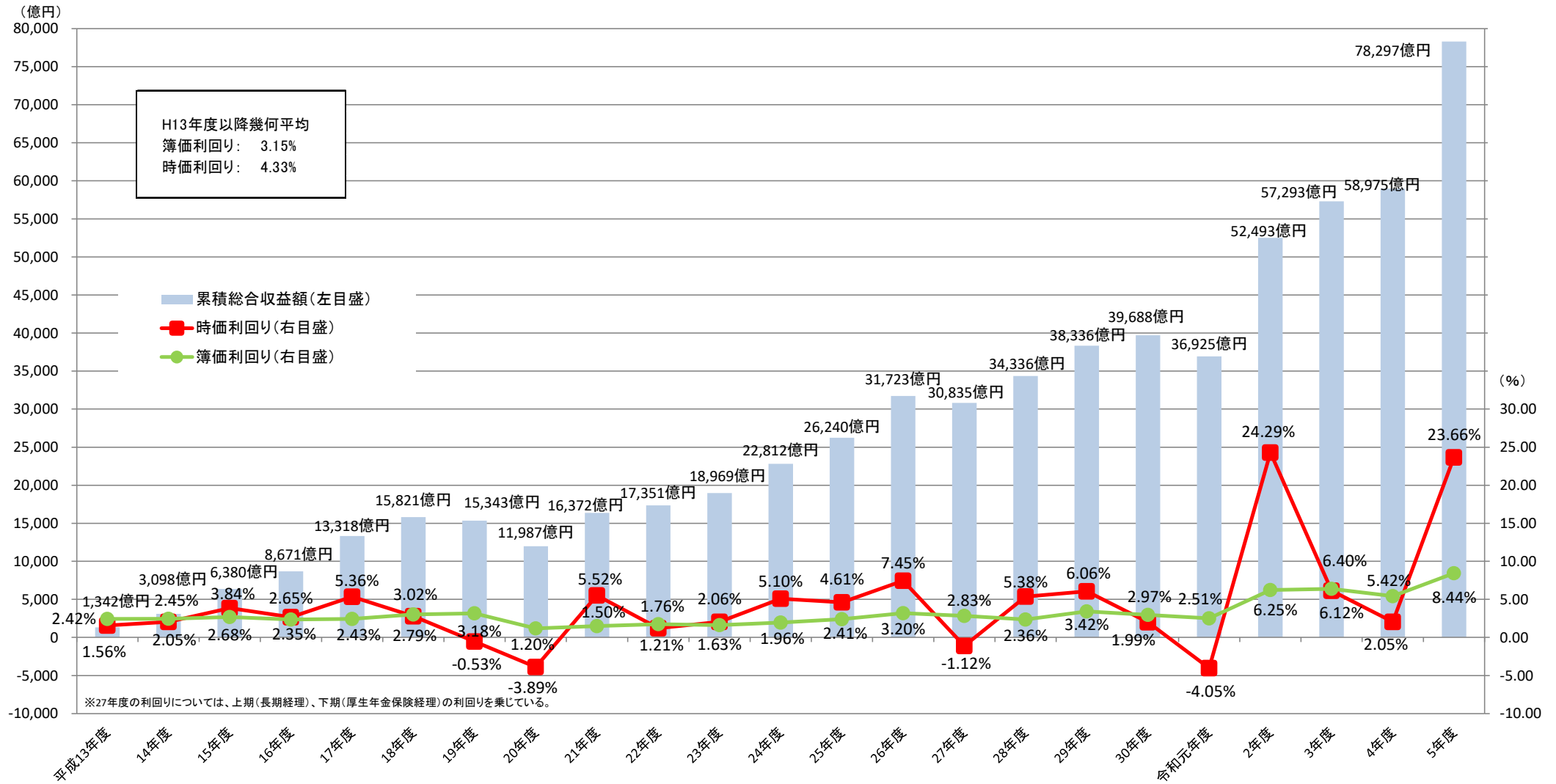
(注2) 資産全体のベンチマーク収益率（複合ベンチマーク収益率）は、各資産の政策ベンチマーク収益率を基本ポートフォリオの割合で加重平均しています。

(注3) 「資産配分要因」とは、基本ポートフォリオと実際の資産構成割合との差による要因です。

(注4) 「個別資産要因」とは、実際の各資産の収益率と当該資産に係る政策ベンチマーク収益率との差による要因です。

(注5) 「複合要因」とは、資産配分要因及び個別資産要因が交じり合ったものと計算上の誤差です。

【参考】これまでの運用実績（平成13年度以降）



【退職等年金給付積立金】

1. 運用資産額・資産構成割合の状況

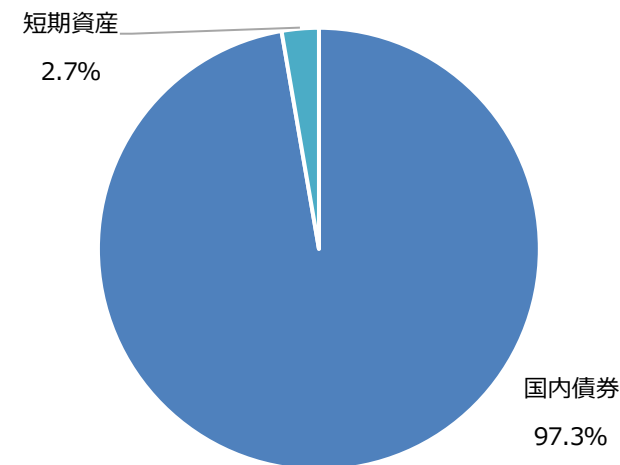
(1) 令和5年度末における運用資産額・資産構成割合

	令和4年度	令和5年度				
	年度末	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	年度末	
	簿価（億円）	簿価（億円）	簿価（億円）	簿価（億円）	簿価（億円）	構成割合
国内債券	7,968	8,279	8,700	9,030	9,109	97.3%
（うち財投預託金）	2,854	2,944	3,139	3,614	3,629	38.8%
短期資産	304	235	91	105	254	2.7%
合計	8,272	8,515	8,791	9,135	9,363	100.0%

（注1）財投預託金及び寄託資産は、国内債券に含みます。

（注2）基本ポートフォリオは、国内債券100%（短期資産を含む。）です。

○ 令和5年度末の資産構成割合



(2) 国共法施行規則第85条の14第7号及び第8号に掲げる事項

- ① 運用手法別の運用の状況（連合会が国共法施行令第9条の3第1項第3号本文、同号八及び同項第4号に規定する方法で運用する場合にあっては、当該運用に関する契約の相手方の選定及び管理の状況等を含む。）（第7号）

外部の運用機関への運用の委託及び組合員を被保険者とする生命保険の保険料の払込みは行っていません。

- ② 連合会における株式に係る議決権の行使に関する状況等（第8号）

退職等年金給付積立金においては株式による運用は行っていません。

2. 収益の状況

(1) 実現収益額・実現収益率

(単位：億円)

	令和5年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度
実現収益額	17	18	12	14	61
国内債券	17	18	12	14	61
短期資産	0	0	0	0	0

(注1) 収益額は、資産管理手数料控除後のものです。

(注2) 財投預託金及び寄託資産は、国内債券に含みます。

(単位：%)

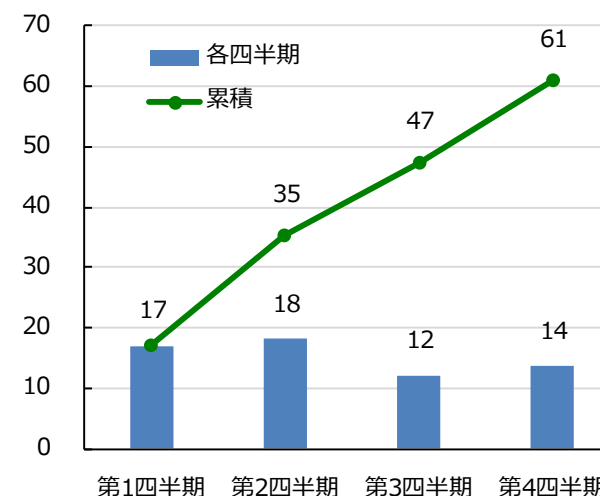
	令和5年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度
実現収益率	0.20	0.21	0.14	0.15	0.69
国内債券	0.21	0.21	0.14	0.15	0.71
短期資産	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(注1) 収益率は、資産管理手数料控除後のものです。また、各四半期の収益率は期間率です。

(注2) 財投預託金及び寄託資産は、国内債券に含みます。

○ 実現収益額の四半期推移

(億円)



(2) 目標運用利回りとの比較

退職等年金給付積立金の令和5年度の運用利回り0.69%は、目標運用利回りとする予定利率0.20%（基準利率0.045%）を上回っています。

また、平成27年10月以降の平均運用利回り1.84%は、予定利率0.32%（基準利率0.11%）を上回っています。

	令和5年度	平成27年度～令和5年度 (8.5年平均)
運用利回り [実現収益率]	0.69%	1.84%
予定利率 (基準利率)	0.20% (0.05%)	0.32% (0.11%)

(注1) 予定利率は、財政再計算時に設定した利率です。

基準利率は、給付の額を計算するための利率（毎年10月に見直しを実施）です。

(注2) 基準利率は、令和4年10月～令和5年9月は0.02%、令和5年10月～令和6年9月は0.07%のため、令和5年度は0.045%（ $(0.02\% + 0.07\%) / 2$ ）としています。

(注3) 平均は、平成27年度下半期からの実現収益率、予定利率、基準利率それぞれの幾何平均です。

(注4) 目標運用利回りは予定利率（ただし毎年度の基準利率が予定利率を上回る場合は基準利率）です。

【經過的長期給付積立金】

1. 運用資産額・資産構成割合の状況

(1) 令和5年度末における運用資産額・資産構成割合

	令和4年度	令和5年度				
	年度末	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	年度末	
	簿価（億円）	簿価（億円）	簿価（億円）	簿価（億円）	簿価（億円）	構成割合
短期資産	8	73	84	88	26	100.0%

（注）基本ポートフォリオは、国内債券100%（短期資産を含む。）です。

(2) 一元化法の施行及び国家公務員の退職給付の給付水準の見直し等のための国家公務員退職手当法等の一部を改正する法律の一部の施行に伴う国共法による長期給付等に関する経過措置に関する省令第5条6号及び第7号に掲げる事項

- ① 運用手法別の運用の状況（連合会が国共法施行令第9条の3第1項第3号本文、同号八及び同項第4号に規定する方法で運用する場合にあっては、当該運用に関する契約の相手方の選定及び管理の状況等を含む。）（第6号）

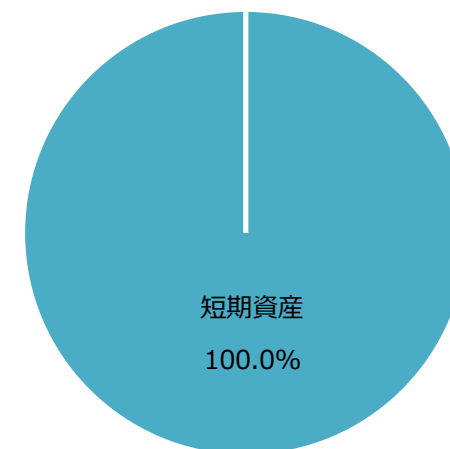
外部の運用機関への運用の委託及び組合員を被保険者とする生命保険の保険料の払込みは行っていません。

- ② 連合会における株式に係る議決権の行使に関する状況等（第7号）

経過的長期給付積立金においては株式による運用は行っていません。

(3) 経過的長期給付積立金は、令和4年度に残高がゼロとなった以降は一元化法附則第76条の規定により地方公務員共済組合連合会からの拠出金を受入れ、年金支給を行っていることにより生じるものであり、運用を目的とした資産は保有していません。

○ 令和5年度末の資産構成割合



2. 収益の状況

(1) 実現収益額・実現収益率

(単位：億円)

	令和5年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益額	-0	0	-0	-0	-0

(単位：%)

	令和5年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益率	-0.00	0.00	-0.00	-0.00	-0.00

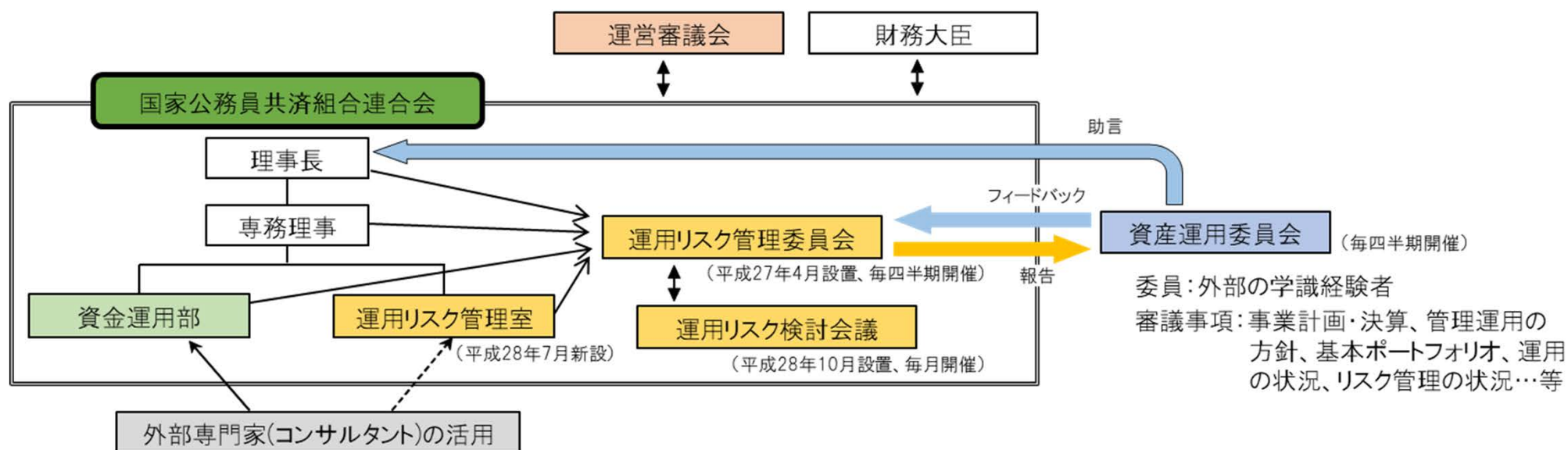
(注) 各四半期の収益率は期間率です。

(2) 運用利回りによる評価について

経過的長期給付積立金は新たな保険料収入がない閉鎖型年金で、運用の段階から給付のためのキャッシュマネジメントの段階へ機能が変化していることから、令和2年4月1日変更の管理運用方針において運用利回りによる評価を行わないこととしました。

【資産運用に係るリスク管理について】

1. 資産運用に係るリスク管理について



<リスク管理の体制>

- 体制は上記図の通り。
- 運用リスク管理方針と同要領を制定し、これに基づいて毎月の状況のモニタリングを実施。
- 管理対象とする運用リスクは、「市場リスク」、「流動性リスク」、「信用リスク」。
- 特に、「基本ポートフォリオ策定前提の検証」、「基本ポートフォリオからの乖離の管理」、「ベンチマークからの乖離の管理」の視点からの管理を実施。

<リスク管理の状況>

- 状況は右表の通り。
- 厚生年金保険給付積立金及び退職等年金給付積立金の令和5年度運用については、適切なし許容範囲内で行われていることを確認。

●運用リスクの状況(令和5年度決算)

	厚生年金保険 給付積立金	退職等年金 給付積立金
市場リスク	○	○
流動性リスク	○	○
信用リスク	○	○

(凡例) ○: 適切なし 許容範囲内 △: 今後に留意を要する
-: 該当なし ×: 対応検討

2. 運用リスク管理の状況

運用リスク管理要領			厚生年金保険給付 積立金		退職等年金給付 積立金	
リスクの種類	管理の視点	リスク管理項目	R4年度 (決算)	R5年度 (決算)	R4年度 (決算)	R5年度 (決算)
市場リスク	基本ポートフォリオの妥当性の検証	期待リターン、推定リスク、相関係数の検証	○	○	-	-
	基本ポートフォリオからの乖離の管理	基本ポートフォリオとの乖離のモニタリング	○	○	○	○
		パフォーマンス分析	○	○	○	○
	政策ベンチマークからの乖離の管理	政策ベンチマークとの乖離のモニタリング	○	○	-	-
	下方リスクの確認他	ポートフォリオの下方リスクのモニタリング他	○	○	-	-
流動性リスク	-	資金繰りリスクのモニタリング	○	○	○	○
		市場流動性リスクのモニタリング	○	○	-	-
信用リスク	-	預金対象先、資産管理機関のモニタリング	○	○	○	○
その他のリスク	-	その他のリスクのモニタリング	○	○	○	○

(凡例) ○:適切なし許容範囲内 △:今後に留意を要する -:該当なし ×:対応検討